

高松平和病院ニュース

〒760-8530 高松市栗林町1-4-1 TEL.087(833)8113(代表) HPアドレス: <http://www.t-heiwa.com/>
発行責任者: 高松平和病院 院長 蓮井宏樹 編集: 広報委員会 発行年月日: 2017年10月10日

あなたの増資で早期発見!!

(MRI増資運動のよびかけ)

この度、高松平和病院では大型医療機器「MRI」を導入しました。

以前の0.35テスラから1.5テスラに性能がアップすることで画像が鮮明になります。その結果診断精度が増し、より一層適切な治療判断に繋がります。整形外科(膝・股関節等)領域に加えてその他の領域(頭部・腹部、乳腺、血管等)の詳細な撮影が可能になり、また短時間で撮影ができることもあり、多くの患者様にメリットを感じていただけたと思います。

但し強力な磁場での検査になり、今まで以上に安全性が求められますのでご協力をお願い致します。

香川医療生協では今回の大型医療機器更新に伴い、広く組合員さんから出資金増資のご協力をお願い致します。増資の申込等、高松平和病院もしくは香川医療生協の各事業所へお問い合わせ下さい。

(事務次長 長谷川貴彦)



みんなの健康は
みんなで守ろう!!



高松平和病院
理念

1. 患者の権利を守り常に信頼される医療を提供します。
2. 健康づくり、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献します。
3. 平和と医療、福祉を守ります。

第5回 地域連携懇談会を開催しました

8月31日(木)にルポール讃岐で地域連携懇談会を開催し、地域の医療・福祉関係者87名の方に参加していただきました。今回は「緩和ケア部門の紹介」をテーマに緩和ケア相談外来・ホスピス緩和ケア病棟についてお話をさせていただきました。参加された皆様が、ざっくばらんにお話ができるようグループになり、当院ホスピス緩和ケア病棟へのさまざまな質問をいただきました。質問の一部を紹介させていただきます、みなさまの疑問にもお答えできたらと思います。

Q 「ホスピス緩和ケア病棟に入院するにはどうしたらいいですか？」

A まず、緩和ケア相談外来の予約をとっていただき、現在通院している医師の診療情報提供書を持ち相談外来を受診します。外来での結果によって、ホスピス緩和ケア病棟入院時期が決まります。

Q 「緩和ケア相談外来ではどんなことをするの？」

A 現在の体調や苦痛な症状や、患者さまやご家族の療養に対する希望などをお伺いします。ホスピス緩和ケア病棟のできることで、できないことなどの説明も行っています。

Q 「ホスピス緩和ケア病棟は普通の病棟と何が違うの？」

A 病院ですので大まかなスケジュールは決まっていますが、できるだけ患者さまのペースに合わせて1日を過ごします。検温なども体調に合わせて行います。

「ホスピス緩和ケア病棟に入院したら退院できないんでしょ？」と言われることがありますが、ホスピス緩和ケア病棟入院後も希望の場所で過ごせるように、退院支援を行っています。退院支援は、患者さまご家族の希望時や症状や体調が安定した場合に行っています。これからも患者さまが希望の場所で、その人らしく生きていけるように、在宅支援関係者と連携を図り、患者さまの意向に沿えるようにしていきたいと考えています。
(ホスピス緩和ケア病棟 杉本 桂)



←講演する大西綾花医師





第6回「すずらんのつどい」



今年も、第6回「すずらんのつどい」を9月9日土曜日にルポール讃岐で開催しました。今年は12家族17名の参加があり、スタッフとご家族が数名ごとに分かれて、お茶をいただきながら、ご家族が入院中の想いや大切な家族の逝去後の様子についてなど様々なことを語りました。

今回の「すずらんのつどい」に参加されたご家族のお話しです。長年連れ添った夫を亡くしたご家族は、「初めてお正月を1人で過ごしました。こんなに寂しいお正月は初めてでした。お節も味気なかったです。」と話していました。夫婦で過ごした時間を感じたとともに残された者の孤独感を感じる話しでした。

また、若くして夫を亡くしたご家族は、「今は生活をしていくために、仕事と家事で精一杯です。でも、仕事があるから逆によかったです。会社の人には心配してくれるけど、余計なことを考えなくてすむから。家に一人で居たらずっといろいろ考えてしまっていたと思います。」と話していました。ご家族の方は、大切な人を亡くした悲しみを抱えながら自分自身の生活を営んでいかなければならないのです。日常生活を通して、新しい自分の役割を見つけ、時には故人のことを思い出すということの繰り返しなのだろうと話しを聞きながら思いました。

前回の「第5回すずらんのつどい」に参加したご家族代表者からのお話では、2年目を迎えて、現在どのように生活をしているかを話してくださいました。たくさんの自然豊かな場所に旅行に行きエネルギーをもらったことやボランティアに参加し人々から元気もらったことなど、悲しみで一杯だった心に、今はたくさんのエネルギーをもらって元気に変えている最中であるという話しがとても印象的でした。

そして最後に蓮井院長の歌声に合わせて「千の風になって」「上を向いて歩こう」をみんなで合唱しました。千の風になっての歌詞にある『千の風に 千の風になって あの大きな空を吹きわたっています』とあるように会場全体に暖かい風がながれていたように感じました。

すずらんの花言葉は『幸福の再来』です。このすずらんのつどいをきっかけにご家族が前向きな気持ちになり、そして再び幸福が訪れることをスタッフ一同心から祈っております。

(5病棟 上原 星奈)

内視鏡室で行っている検査・処置について

◆上部消化管内視鏡検査(食道・胃)

(早期発見治療に繋がりますので症状が無くても年に一度は検査を受けて頂く事を推奨しています。)

※当院で検査を行う場合、経口・経鼻のどちらか選べます
鎮静剤使用により検査を楽に行う事も出来ます。

※内視鏡室では、検査に伴う苦痛を少しでも緩和できるように背中をさすったり声掛けを行うなど、看護師によるケアを大切にしています。また、下記のような内視鏡治療も行っています。

- EVL・EIS (内視鏡的食道静脈瘤治療)
- 胃瘻造設・交換
- ERCP・EST (総胆管結石等の診断・治療)
- 胃潰瘍などからの出血に対する止血処置等

◆下部消化管内視鏡検査(大腸)

(毎年検便検査は受けて頂き潜血反応がありましたら大腸検査を受けて頂いています。)

※痛みの強い方に対してはご希望に応じて、鎮静剤などを行い安全で苦痛の少ない検査を心がけています。

ポリープ切除術(検査をされてポリープがありましたらその場で切除させていただきます。)

※切除後には、出血などのリスクを考え、一泊経過観察入院を行っています。

- 止血処置等



◆気管支鏡検査

◆その他 肝臓疾患の治療 ※経皮的ラジオ波焼灼術、肝動脈塞栓術等

消化器症状(腹痛・血液の混じった物を吐いた・便に血液が混じっていた)があったら早めに受診しましょう。

内視鏡室検査 週間予定表

※変更する場合もありますので、事前にお電話にてご確認ください。

	月	火	水	木	金	土
午前	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡 PEG交換	胃内視鏡	胃内視鏡 (第1・3週)
午後	大腸内視鏡 気管支鏡検査	大腸内視鏡	大腸内視鏡	特殊検査処置	大腸内視鏡	

職場紹介

内科外来

当院内科外来は看護師15名と事務1名のスタッフで外来診療業務を行っています。外来業務



たとえば医師の診察介助が中心かと思われませんが、来院された患者さまがどのような症状で受診に来られたのか(受付)どのような治療を希望されているのか(診察介助)採血や注射がスムーズに出来るように(注射処置室)などそれぞれの担当スタッフが患者さまに安心・納得して医療・看護が受けられるように考えながら外来業務をさせていただきます。

また、週4回往診へ同行し、在宅で療養されている患者さまが安心して療養出来るようサポートさせていただきます。